

一般質問 議:議員/理:理事者

- 学校給食費の無償化について
 - 物価高対策「重点支援地方交付金」について
- その他の質問
- ・ケアマネジャー（介護支援専門員）の処遇改善について
 - ・不登校児童・生徒の定期健診の体制づくりについて
 - ・教員の長時間労働の改善について



新風会・公明

安岡孝一 議員



議 学校給食費の無償化について自民党、公明党、日本維新の会で令和7年2月に合意した。まずは小学校を念頭に置いて地方の実情等を踏まえて令和8年度に実現し、その上で中学校への拡大についても、できる限り速やかに実現するとされた。

こうした国の動向を踏まえ来年度からの学校給食費の無償化について見解を伺う。

理 令和8年度予算の編成にあたり、4月から小中学校共に保護者負担を求めない給食費の完全無償化の実現に向けて取り組んでいく。

現時点で国からは、小学校の給食費について1人当たり月額4,700円程度を、4月から全国一律で支援する方針が示されているが、現在市の小中学校給食における食材費は7,000円を超えており、国が検討する給食費支援が実現しても、小学校給食費の完全無償化にはほど遠い状況。

今後は市の財政負担の軽減に向け、国に対する完全無償化や県に対する支援を求めていきたい。

議 政府は11月21日に物価高対策を盛り込んだ総合経済対策を決定した。

今回1月から3月の電気・ガス代の負担軽減や、子ども一人あたり2万円を児童手当に上乗せして現金給付と同等の子育て支援が盛り込まれたことは評価したいと考えるが、物価高で困っている子どものいない中間層や、低所得者、高齢者に恩恵が届くように、また、医療、介護、障害福祉サービス施設、保育施設、学校施設等に対する物価高対策の支援もお願いしたい。市の所見を伺う。

理 市では重点支援地方交付金の経済対策として、19歳以上64歳以下には電子クーポンによる商品券の配布、65歳以上には給付金の支給を考えている。

その他家庭用LED照明器具買換の支援、児童福祉施設及び社会福祉施設への電気料・食材費高騰に対する支援などのメニューを準備している。

一般質問 議:議員/理:理事者

- 子育て支援と子ども達の未来について
- 勝山市の広報について



市議会

石垣智史 議員



議 スキー教室の費用負担や安全面への不安が高まる中、雪国ならではの体験を守りつつ格差を生まない仕組みづくりが必要である。無料リフト券の活用、企業協賛、ウェアのリユース、専門指導員導入などにより、子ども達の学びとシビックプライドを支える支援強化を提案する。

理 市では、ふるさとへの誇りと愛着心の育成を教育の重点事項の一つと位置づけている。市内小中学校におけるスキー教室は勝山の大自然を生かした体験活動であり、地域の魅力を体感する貴重な機会であるとともに、他の地域の子供達にはできない経験であることから、勝山の子供達の自慢の一つとなり、シビックプライドの醸成に貢献するものと考えている。

現在、スキー教室に係るリフト券やレンタル料金については、学校向け特別価格として減額の配慮をいただいているが、保護者負担が生じていることも認識している。市として関係機関と協議し、スキー教室のリフト券助成等を実施するなど、実質的に保護者負担が大きく軽減できるよう検討していく。

議 勝山市の広報は若者・働く世代に届いておらず、必要な情報が市民の視界に入っていない現状がある。そこで人通りの多い場所にLEDビジョンを設置し、補助金・子育て・防災・クマ出没・観光などをリアルタイムで発信する新たな広報戦略を検討すべきと考える。市の見解を伺う。

理 若い世代や子育て世帯向けには、SNSの利用が効果的と考えており、引き続きデジタル媒体での情報発信の強化に努めていくが、LEDビジョンは視認性やインパクトが大きいことから情報発信の有効な手段の一つと考える。設置場所の選定や既存の看板との置き換えも含め、検討してまいりたい。